

人と森が仲良くなって、すてきな未来につながってゆく。

mamori

No. 14
Autumn 2013

特集 もりたび2

森と水のすてきな関係

付録

おやこ、ともだちで楽しむ
mamoriかるた6 この実の木を知りたいな

木とシェアした豊かな場所、暮らし

家族で楽しめる高知・山の施設

みどりのマモリビト

森からの贈り物

「mamori」は、木と人との共生、木の文化、
森林環境税を活用した事業を伝える冊子です。

高知県は森林環境税を活用して、将来を担う子ども達への森林環境教育や
森川海の連携・交流など、県民の主体的な活動の支援、間伐をはじめとする
森林保全等を推進しています。森林率84%という全国一の森林県であること
を誇りに、県民がそれぞれの立場で森林の将来を考えて欲しいと願います。



センリョウ(千両)

分類:センリョウ科の常緑小低木
果期:12月~3月

東海地方より西の本州・四国・九州・沖縄、アジ
ア島南部に分布し、高さは1mほどになります。
花は両性で6~7月に枝先に集まってつきます。
花には花びらもガクもなく、実になる子房の横
に雄しべが1個つきます。



マンリョウ(万両)

分類:ヤブコウジ科の常緑小低木
果期:11月~4月

関東地方より西の本州・四国・九州・沖縄、中
国、台湾や東南アジアに分布する常緑低木
で、樹林内に生育しています。高さ1mほどで幹
はまっすぐ立ち、花は7~8月に枝先へ直径約
8mmの白い花を10数個つけます。



ナンテン(南天)

分類:メギ科の常緑低木
果期:10月~2月

茨城県より西の本州・四国・九州、中国、インド
に分布する常緑低木で、石灰岩地に多く見ら
れます。木の高さは3mほどになり、5~6月に枝
先へ直径6~7mmの白い花を大きな円すいの
形になるようにつけます。



ヤブコウジ(藪柑子)

分類:ヤブコウジ科の常緑小低木
果期:10月

北海道の奥尻島・本州・四国・九州、朝鮮半
島、中国、台湾に分布する、高さ20cmほどの
常緑小低木。林内に生育し、地下にある茎をの
ばして繁殖します。7~8月、葉のわきに小さな
白い花を下向きに数個つけます。

付録

おやこ、ともだちで楽しむ
mamoriかるた6

牧野植物園・秋から冬の催し

■企画展「世界の三大穀物～イネ・ムギ・トウモロコシ～」/10
月5日(土)~2014年2月2日(日) ■菊花展/11月2日(土)~
17日(日) ■クリスマスウィーク/12月14日(土)~25日(水)

執筆・監修 高知県立牧野植物園



ユズ(柚子)

分類:ミカン科の常緑小高木
果期:10月~12月

中国原産で、関東地方より西で広く栽培されて
いる常緑果樹。高さは8mにもなります。花は4
~5月、葉のわきにやや大きくて白い5個の花び
らを平らに開き、すぐ落ちます。枝にはすどい
トゲがあります。



タラヨウ(多羅葉)

分類:モチノキ科の常緑高木
果期:11月~2月

静岡県より西の本州・四国・九州、中国南部に
分布し、高さ20mほどになります。葉は長さ
20cmのだ円形で、厚く光沢があります。葉の
裏に傷をつけると黒く変色し、文字を書くこと
ができるため「手紙の木」とも言われます。



シリブカガシ(尻深樫)

分類:ブナ科の常緑高木
果期:10月~11月上旬

近畿地方より西の本州・四国・九州・沖縄、台
湾、中国南部の山地に生育し、高さは15mほ
ど。雌雄同株で9月頃になると、長さ10cmほ
どの枝に花が付き、穂のように見えます。花には
黄褐色の短毛が生え、よく目立ちます。



サネカズラ(実葛)

分類:マツバサ科の常緑つる性木本
果期:11月~2月

関東地方より西の本州・四国・九州・沖縄、中
国、台湾に分布するつる性の木で、ほかの木に
からまって伸びています。8月頃に葉のわきに、
直径1.5cmの黄白色の花をつけます。ピナンカ
ズラ(美男葛)という別名もあります。



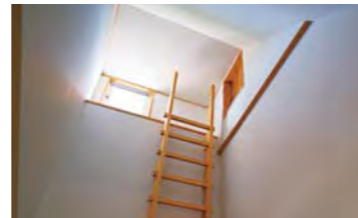
階段や外壁は、木の優しさとあわせてデザイン性も重視されている。

土佐郡土佐町の役場庁舎がすべて地元産の木材を使って約50年ぶりに建て替えられました。夏は涼しく、冬は温かく感じる人に優しいエコ庁舎でした。

地域の気候や風土にあう木の庁舎。



土佐町庁舎に入ってすぐ見える風景。いかに木を使っているか、開放感があるか、一目で感じられる。



木の梯子や看板なども温かみがある。

土佐町役場総務企画課

住/土佐郡土佐町土居194
TEL/0887・82・0480



西村卓士町長

総務企画課の杉本啓さん



スギの集成材が廊下や壁をはじめ各所に使われている。



町民が利用するふれあいコーナー。



木に囲まれた議場。とても落ち着いた感じの場所だ。



水を生かすためには山から。

「旧村合併後の1963年に当時の庁舎が完成しました。それから約半世紀近く経ち、大地震に備えた耐震性が確保できず、建て替えをしなければいけない状況でした。産・官・学において健康省エネ木造住宅への関心が高まるなか、それなら地元林業の活性化を第一にと考え、すべて町内産の木材を使うことにしました。庁舎以外にも、道の駅土佐さめうらや町営住宅などで使っています」。

西村卓士町長は森と水の重要性を熱く語ります。

「ここは四国の水がめ、早明浦ダムがある町であり、吉野川の流域。だからこそ山と水が重要です。町内の下水道普及率は70%を超え、点にしている集落には合併浄化槽を整備しています。目標は100%下水道整備。今では地元の地藏寺川も本当にきれいな川になり、子どもたちの川遊びの音が聞こえます」。

これからは、水がセールのポイント。土佐赤牛や嶺北ビーフなど畜産業、お米や野菜など環境保全型農業への取り組みなど、きれいな水で産産を展開していく。そのように条件を整えて、若者に移住してもらえようようにしたいですね。だからこそ、山を元気にしていかなければと思っています」。

平成24年8月に完成した土佐町の新庁舎について、西村町長から説明して頂いた後、総務企画課の杉本啓さんに案内してもらいました。

エコ素材としての地元木材。

建物は木造2階建て。玄関ホールは町内の有志が寄贈した銘木のモニュメントに、2階への吹き抜け。1階フロアは奥まで見渡せ開放感があります。木の柱が立ち並び、木

の庁舎を印象づけます。この庁舎で活用された町産のスギは約700本。床や壁などの素材は集成材が中心。木の手すりの感触を楽しみながら階段をあがって2階へ行きます。ここも木がたっぷりの空間でした。特に立派に感じたのは木に囲まれた議場。傍聴席に座ると、町の豊かさを感じました。「木の香りがして、温かい感じがする」という町民の方の声をたくさん聴くと杉本さん。また木の評価と併せて、「税のことや住民票が必要な方など、町の皆さんが利用する窓口が本庁舎に集まったので、使いやすくなった」と言っています」。

総合受付にいる女性職員は、「雨の日のじとじと感が減ったし、夏は涼しく、冬は本当に温かさを感じます。玄関ホール前には町民の方が利用するふれあいコーナーも新しくできて、皆さん座って、会話しながらくつろいでいます」といいます。

輸送コストをかけない地元の木は、地域の気候や風土にあった、より自然で健康的な素材といえます。土佐町の進める公共施設への地元木材の活用、県内の他の地域にも広がってほしいと思います。

森林環境税を活用した事業の紹介。

高知県木の香るまちづくり推進事業

「木の文化県構想」に基づく「木に親しむ」「木を活かす」活動の一環として、森林環境税を活用して、県産材を積極的に活用した公共的な空間等の整備に対して支援を行っています。

例えば県内の幼稚園・保育所、小・中学校の児童生徒が日常的にふれあう木製品(机・椅子・遊具等)の購入経費に、補助率1/2以内(限度額500万円)で助成しています。

問い合わせ: 県木材産業課 TEL/088-821-4591

物部川源流域の山々の現状と、水の関係を知りました。

香美市・香南市・南国市を流れ、流域の人々の暮らしに様々な恩恵を与えてきている物部川。JAとさかみ「あぐりふれんど☆クラブ」の子どもたちはその源流の山々や川がどうなっているのかを学びに香美市物部町別府に行きました。



手つかずの豊かな水辺の森を見つめ、刻まれた悠久の時、あるべき自然の姿を感じ取る子どもたち。



「物部川21世紀の森と水の会」事務局、常石勝さん



「あぐりふれんど☆クラブ」の事務局長、久保優里さん

高知県・物部川流域の豊かな水と森づくりのために、森・川・里・海に関わる流域住民と団体が協力して活動しているのが、「物部川21世紀の森と水の会」です。森林環境税の普及啓発と森林環境教育の推進を目的として、「山の日先生派遣事業」を実施しています。

問い合わせ／事務局・常石
TEL/090-4784-5707

水をたくわえる山が弱ってきたぞ！

JAとさかみが主催し、小学生24名が一年を通じて食農体験学習を行う「あぐりふれんど☆クラブ」は、農作物に欠かせない水（物部川）のことを知るため、その源流域にあたる別府峡へ来ました。

「山には雨を受け止め保水する役割などたくさんあるの公益的機能があります。山からわきでた水はやがて川となり、その水を使っている私たちは生活しています。また農業をはじめ、さまざまな産業にとっても欠かすことができません。ところが今は山が荒れ、豊かな土壌が流出し、保水能力が弱くなってきました。環境の悪化は、川や海にまで影響を及ぼしはじめています。自然の本来あるべき姿がそこなわれているのです。だから皆さんに源流の山が今どうなっているのかを知ってほしくて、こゝまで来ました」と話す講師は「物部川21世紀の森と水の会」事務局の常石勝さん。

「昭和32年、旧物部村（現・香美市物部町）の人口は約一万二千人いました。その頃は暮らしの中で山は管理されていました。ところが今は二千三百人弱まで減っています。その人口で約二万九千ヘクタール（学校のグラウンド三万個分以上）ある物部町の広大な森林を管理できるでしょうか？ 大事な森はみんなが守っていかなければならないと思います」と子どもたちに語りかけます。この日参加の子どもたち22名と、保護者、スタッフら合計40名は、ふく峡温泉で開校式を行い、その後、常石さんの案内で別府山へ。

40名は山で何を見たのか？

ここは森林環境税や緑の募金を活用して

「広葉樹の森づくり」に取り組んでいる別府・物部川ふれあいの森（国有林）です。途中、常石さんたちが木の種類や特徴を紹介したり、いま取り組んでいる自然の力を利用した広葉樹の森づくりの目的などを説明しながら、山の手入れの重要性を伝えてくれます。そして見晴らしの良い場所までくると、「あそこは、高知中部森林管理署が手入れしている造林地で、白っぽく見えるのは、ヘキサチューブというもので、植えた木がニホンジカの食害等にあわないように木を囲っているカパーです。今は、森の再生にお金も労力も余分にかかる時代になりました」と現状を憂えながら説明します。

別府山を下りた子どもたちは、疲れた！といながらいろいろな木の種類を教えてもらい、すごく勉強になりました。「あんな険しい山にカパーを張るなんてすごい」「普段生活していたら忘れるけど、川の源流の山が大事なことがわかった」とそれぞれ感想を話してくれました。

その後、ふく峡温泉に戻り昼食のカパーキユーを楽しんだあと、ミニ植木鉢を使った風鈴づくり。「あぐりふれんど☆クラブ」の事務局長、久保優里さんは、「わたし達の生活も仕事も、水が必要で、その水をつくらせてくれる川の源流域にある森の現状を、子どもたちに知ってもらおうということが大きなテーマでした。山に登る経験がない子どもたちも多く、下りた後は、楽しかったよ」と言ってもらえてよかったです」と安堵の表情でした。

子どもたちも山と水の関係が理解できたようです。

川は森の姿を映し出す鏡、近年の土砂災害により魚道が埋まった治山・砂防堰堤。生態系への影響も心配される。



山一面に立つヘキサチューブ、一本一本に苗が入っている。



開校式でノートを開き、熱心に話を聞いている子どもたち。





マモルン

元気な森が育つためには、たくさん
の水が必要なんだ。ボクたちが住んで
いる日本はよく雨が降るところなの
で、ずっと昔から森が育っていて、森
から色々な恵みをもたらしてきたよ。キ
ミの近くにある森や里山にも、とても
大きな木があるんじゃないかな。
でもね、森は自分が大きくなるた
めに水をつかっていただけじゃなく、
雨水をきれいにしたり、山の中にたく
わえたり、あんまり知られていないけ
ど、とても大事な仕事をしてくれ
ているんだ。今回のもりたびは、その
森のチカラを見つけてながら、森と水
のステキなつながりを見に行こう。

自然災害から守ってくれるチカラも
持っています。
健康な森だからこそ、本来のチカラを
発揮できるのです。森と水の素敵なつな
がりを失わないよう、健康な森を守り育
てることは、自分たちの暮らしを守るこ
ともにつながるのです。

深いきずなで
森と水はつながっています。
地表に降った雨水は川の水や地下水
になり、海へ注がれます。海や地表から
蒸発した水は大気中に貯えられ、やがて
雨や雪となって再び地表に降ってきます。
このように水は自然の中で大きな循環
をしていますが、その循環の主役を務
めているのが森林なのです。
森は、降り注いだ雨水に栄養を含ませ
ながらキレイにする浄水器のようなチ
カラを持っています。それから、山の中
に水をたくわえる「緑のダム」と呼ばれ
るチカラ。さらに土砂崩れや洪水などの

水をたくわえ、
栄養をふくませ
うまく川へ流す
森のチカラ、
もっと知りませんか。
高知には森や里山がたくさんあります。
森や里山は、大雨が降ったら雨水をたくわえ川を守り、
雨が降らない日が続いても、川に水を流してくれる
「緑のダム」をはじめ、たくさん働きをします。
それではマモルンと一緒に森を歩きましょう。
森と水の素敵なつながりが見えてきますよ。



そうなんだよ。
土の中で木の根が
張っていて、
土砂災害から
守ってくれるんだ。



おじいちゃんが
元気な森は
大丈夫だって。



雨ばかりだと
土砂くすれ
しないのかなあ。



漁師さんが
森を大切にしている
お話を知ってるかい？

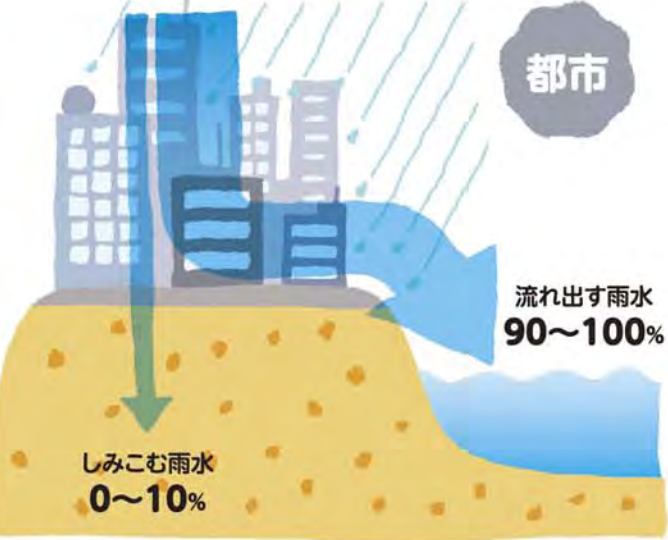
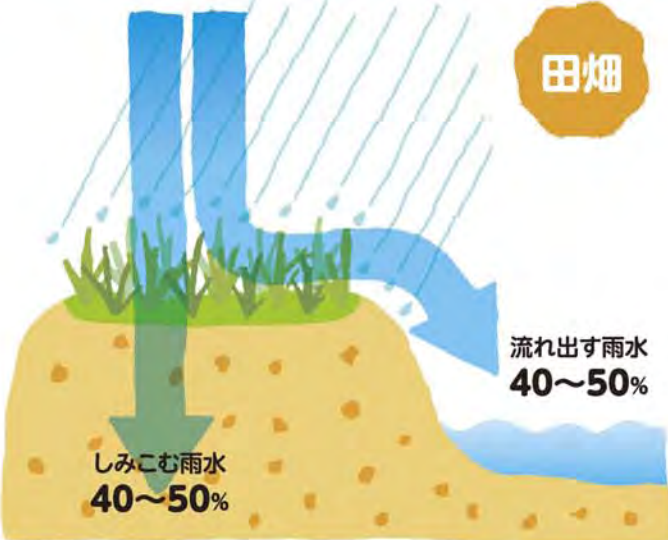
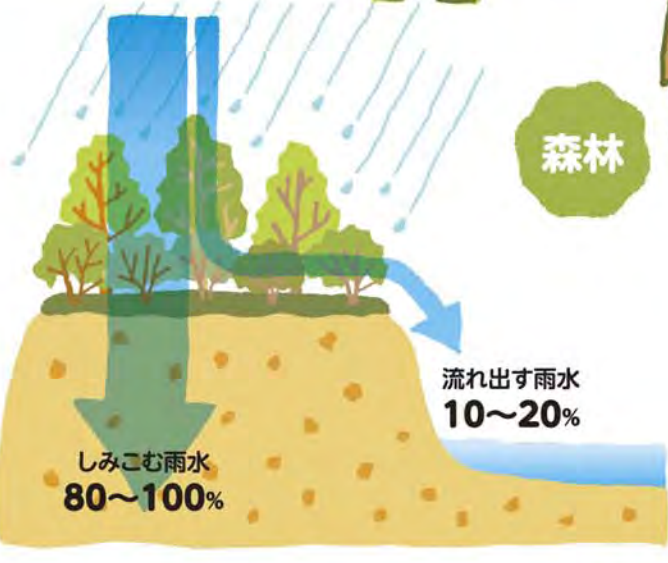
え？
それは
ホント？
そのお話、
聞かせて
マモルン。



遠く離れた海を
豊かにする森のチカラ。
森に降った大部分の雨水は、地面を覆う腐葉
土に染みこみ、地下深くまでゆっくりと流れ
て行きます。この時、すきまの多い土の間を雨水
が通り抜けていくうちに、「ゴミや汚れは取り除
かれ、腐葉土や岩にふくまれるミネラルなどの
栄養分が水へ溶け込んでいきます。この森から
生まれた栄養分を含んだキレイな水が、地下水
や川の水となって海へたどり着くのです。
このように森は、まるで浄水器のようなチカ
ラで雨水をキレイにしなが、森の土からたく
さんの栄養を川や海へ届け、森から海までの広
い範囲に棲む多くの生き物を育んでいます。漁
師さんたちは、このことを知っているから森を大
切にする活動をしているのです。



元気な森は
土の下のチカラ持ち。
土砂くすれは、大量の雨水が土に染みこんで
たまり、岩でできた頑丈な地盤との結びつきが
弱まった土砂が、斜面をすべりやすくなること
で起きます。多くの草木が育っている元気な森
では、土の中に木の根が張り出し、からみあい
ながら表面の土をしっかりと地盤に固定させて
います。
最近では、元気な森が減っているために、土
砂くすれがたびたび起こるようになってい
ます。また、緑のダムの働きが弱まることで、大雨の
たびに洪水が起るようになります。このよう
に、人々の暮らしを災害から守るためにも、健
康な森を守り育てることは大切なのです。



水は見えないけれど
森は大きなダムなのです。
森には水源かん養といって、雨水をたくわえ
る働きがあります。森に降った雨は、木や葉つ
ばに受けとめられて、そのまま蒸発して大気
に戻ったり、沢や川へ流れ込んだり、腐葉土に染
みこんだりします。この腐葉土に染みこんだ雨
水は、ふかふかした土の中をゆっくりと移動し
ていき川へ流れ込んでいます。だから雨が降って
いない時でも、森がたくわえた水のおかげで川
の水がなくなるらないのです。
もし、森がなければどうなるでしょう。降っ
た雨水は勢いよく地表を流れて、川の水を一気
に増やしますが、逆にしばらく雨が降らなけれ
ば、川の水が減ったり、無くなったりしてしま
います。豊かな森はダムの代わりにしてくれて、
川の水量を調整するチカラを持っているのです。

今年は雨が
急にふったり、
何日もふらなかったり。
変な天気。
でも川の水の量って
いつもだいたい
一緒だよ。
それはね、
森が緑のダムの
働きをするからだよ。



水源かん養とは...
森が雨水を吸収して貯め、その貯めた水を
調節しながら河川に流すことをいいます。



出典:W.Mマーシュ、1998「くらしと森林」(社)全国林業改良普及協会



これ、何の実?

6~8mmくらいの丸い実で、10月に赤く熟れて、2月ごろまで見られるよ。一つの枝に100個以上の実をつけることもあるんだ。この実はせき止めなどの薬にも使われているよ。白い実がなることもあるんだ。



これ、何の実?

実の大きさは6~10mmぐらい。11月ごろに赤く熟れた実は、4月ごろまで残っているよ。10個ぐらいの実をつけた枝が、幹のまわりにたくさんつくんだ。その見た目がきれいなので、庭の木や鉢植えなどによく使われているよ。



これ、何の実?

5~7mmくらいの丸い実が、茎の先に集まってついて、12~3月になると黄色がかった赤色に熟すんだ。昔から庭に植えたり、生け花に使われたりするよ。最近ではクリスマスやお正月の飾りで使うために育てられているよ。



これ、何の実?

6~7cmの丸い実で、きれいな黄色に熟れるよ。とてもすっぱいけど、いい香りがするよ。高知県はこの実の産地として日本でも有名なんだ。冬至にこの実を浮かべたお風呂に入ると、カゼをひかないって言われているね。

付録
おやこ、ともだちで楽しむ
mamori かるた6

この実の木を知りたいな
高知を代表する木になる実だよ。
きつと学校のまわりや、
近くの公園、山、海岸にあるよ。
こんな木に、かわいいもの、
めずらしい形のもの。
みんな探してね。
うらには木の名前と
とくちょうが書いてあるよ。

実を食べるときは、必ず植物にくだしい人についてから食べてね!
花や木の大きさは、違う場合もあるので、めやすにしてね



これ、何の実?

サクランボみたいな実の大きさは5mmくらい。時々1cmくらいの大きなものもあって、10月ごろに赤く熟れるんだ。昔から人の手で育てられている植物の代表で、江戸時代からたくさんの種類が作り出されているんだよ。



これ、何の実?

30~40個の小さな玉が集まった、3cmぐらいのボールみたくな実がなるよ。11月に赤くなって、次の年の2月ごろまで見ることができるんだ。おもしろくて美しい形の实なので、見て楽しむために育てられたりしているよ。



これ、何の実?

底がへこんでいるので、尻深という名前がついているどんぐり。長さ2cmのだ円形で、次の年の秋に熟れて落ちてくるよ。高知県東部では「カシドウト」を作るために使われているんだ。渋みが少ないから、煎って食べられるよ。



これ、何の実?

葉っぱの付け根に8mmの丸い実をたくさんつけてるよ。鳥にはあんまりおいしくない実なのかな?赤く熟れてからも、しばらく残っているんだけど、最後にはヒヨドリやムクドリに食べられて、あっという間になくなってしまふんだ。

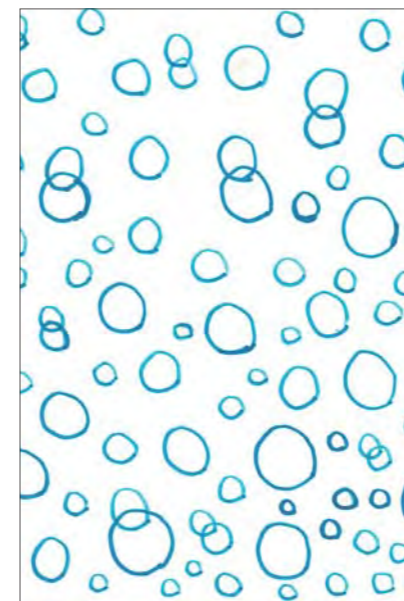
平成25年度 こうち山の日推進事業一覧

秋から冬にかけて、魅力的な山のイベントがたくさんあります。森林環境税を活用した「こうち山の日推進事業2013」の主なイベントです。



イベント名	日程	場所	問合せ先
巣箱づくり森の動物の間伐材アート事業	①11月2日(土)・11月3日(日) ②12月7日(土)・12月8日(日)	四万十町ヤイロチョウ保護区の森とその周辺	公益社団法人生態系トラスト協会 TEL・FAX/088-841-5400
障害者とのボランティアの森林活動のついで2013	11月3日(日)	土佐山田町甫喜ヶ峰森林公園	障害者の生活と権利を守る高知県連絡協議会 TEL/088-871-6440
大月の製炭学習と里山への植栽事業	11月9日(土)	大月町橋浦・弘見地区	大月町備長炭生産組合事務局 TEL/090-6880-7426 FAX/0880-73-1633
親子で里山観察体験	11月9日(土)・11月10日(日)	大月町内自然林	四万十かいどう推進協議会大月支部 TEL/0880-73-0135 FAX/0880-73-0134
自然の中で楽しむ!! 2	11月10日(日)	土佐山田町甫喜ヶ峰森林公園	高知県立甫喜ヶ峰森林公園 TEL・FAX/0887-57-9007
間伐材の活用: 木製ラック作りとスラックライン体験	11月中旬予定	四万十市佐田沈下橋広場	シマントモリり団 TEL/090-1329-6330
梶原町松原久保谷山 風景林体感森林教室	11月17日(日)	梶原町松原久保谷山	高知県キャンプ協会 TEL/090-4509-8543
情報交流館祭り	11月17日(日)	土佐山田町情報交流館敷地内	情報交流館ネットワーク TEL/0887-52-0087
四国ジビエグルメフェスタ2013	11月17日(日)	長岡郡大豊町ゆとりすとパークおおとよ	嶺北ジビエ実行委員会 ゆとりすとパークおおとよ TEL/0887-72-0700
森林体験入門講座 「働き盛りの大人のアウトドア」	①11月17日(日) ②12月14日(土)	①土佐町 ②大豊町梶ヶ森	高知県立甫喜ヶ峰森林公園 TEL・FAX/0887-57-9007
自然と暮らすさき2013 蟻蛇森オリエンテーリング	12月1日(日)	須崎市蟻蛇ヶ森	移住定住支援センター暮らすさき TEL・FAX/050-8808-6388
山を手入れするための道作り	12月中旬予定	土佐清水市三崎字穴ノ木の山林	サンゴの森の救援隊事務局 TEL/090-7623-9643 kazuyahamaguchi@hotmail.co.jp
自然体験 山の学校	12月22日(日)	幡多郡黒潮町(海森自然体験公園内)	幡東森林組合 TEL/0880-55-2021 FAX/0880-55-3355
桜を植えて 歴史を語ろう	1月26日(日)	幡多郡黒潮町(海森自然体験公園内)	幡東森林組合 TEL/0880-55-2021 FAX/0880-55-3355

*イベント内容や時間等、詳細につきましては主催者にお問合せください。



【表紙は語る】

「シャボン玉」

表現活動を通じて、障害のある人たちが本来の自分になれることや、社会全体が美しい空間になれることを願い活動している「アートセンター画案」(高知市)で、作品を創作している池川れい子さん。普段の創作では色鉛筆を好んで使い、強い筆圧で一枚の絵を描き上げます。今回の作品ではサインペンを使い、シャボン玉が重なり合いながら飛んでいく様子を表現してくれています。

池川れい子 Reiko Ikegawa

作品づくりでは「何を描こうか?」と悩み続けて、気がつくと池川さんの机の上は消しゴムのカスでいっぱいになっています。しかし、納得の一枚が完成する時は、色鉛筆をギュッと握りしめ、「あー疲れた」と言いながらも力強く塗っていき、最後に力尽きるそうです。うまく描けた時は最高の笑顔と、誇らしげな表情を見せてくれます。

アンケートにご協力下さい

- 高知県の「森林環境税」を知っていましたか。(1つだけ)
①良く知っている ②名前は知っているが内容はあまり知らない ③知らない ④その他()
- 本誌をどちらで入手しましたか。(1つだけ)
①学校、幼・保育園などの教育機関(教育施設名) ②観光施設や道の駅、直販所など ③図書館や郵便局、銀行、病院など公共施設 ④スーパーや飲食店、美容院など ⑤その他()
- 今回の誌面で興味を持ったページはありますか。(いくつでも)
①特集 ②木とシェアした豊かな場所、暮らし ③家族で楽しめる高知・山の施設 ④みどりのマモリヒト ⑤森からの贈り物 ⑥mamoriかるた ⑦別のことを取り上げてほしい(例えば)
- 本誌を読んで森林環境税や森・山のことについて理解が深まりましたか。(1つだけ)
①良く理解できた ②少しは理解できた ③よくわからない ④その他()
- 今後、「mamori」で取り上げてほしいテーマはありますか。(いくつでも)
①森林や、森林環境税の広報 ②森林や山を守る県民の活動 ③子供たちの森林環境学習 ④間伐など森林整備の活動 ⑤地域住民による荒廃した里山・竹林の整備活動 ⑥公共施設の木質化の動き ⑦シカ被害対策などの取り組み
- 次代を担う子ども達に森や木への関心を持ってもらうために本誌は役立っていると思いますか。(1つだけ)
①とても役立っている ②まあまあ役立っている ③それほどでもない ④よくわからない ⑤その他()
- 子ども達に森や木への関心を持ってもらうためにはどのような取組を充実させる必要があると思いますか。(3つまで)
①森林環境学習 ②森での親子イベント ③山村の方との交流イベント ④木工品づくり、炭焼き体験 ⑤森林公園の整備 ⑥学校や公共施設への木製品の導入 ⑦mamori等による広報 ⑧その他()
- 高知県が行っている森林環境税や本誌について、ご感想やご意見をお願いします。

mamori 500
森の文化・自然体験メニュー窓口
こうち森のささやき
http://www.moritomidori.com/sasayaki/

森林環境税は、県民みんなが負担することで森とのかかわりを認識し、森を守っていくという森林保全を目的とする高知県の税制度です。県民税に年額500円を上乗せするもので、個人、法人ともにご負担をいただいております。発行日/2013年10月 制作・編集/クリケット「季刊高知」編集部 with ゴーコーデザイン 門田幹也

この冊子は再生紙を使用し、大豆油インクで印刷しています。

*アンケートへのご協力、有難うございました。